



**f** facebookページ開設中！『いいね！』を押してください。

アクティブラーニングー1、2年生共同「保育実習」「教育実習」を通して—

## izumi NEWS Vol.22

**いづみ** 和泉短期大学 広報渉外ユニット

発行責任者 理事長 深町 正信

〒252-5222 神奈川県相模原市中央区青葉2-2-1

TEL.042-754-1133 (代表)

URL <http://www.izumi-c.ac.jp>

## 一 目 次 — C O N T E N T S

特集 新入生に聞きました「和泉の学生生活」…………… 2

<b>izumi TOPIC</b>	● 実習を通して学んだこと	3
	● アクティブラーニング	4
	● 2013年度決算書概要	6
	● 2014年度予算書概要	6
	● 新任教職員紹介	8

# 新入生に聞きました「和泉の学生生活」

島森 美咲(都立町田総合高校出身)



## Q1.なぜ和泉で学ぼうと思ったのですか。

先輩方がいつも明るく話しかけてくれて、とてもよい印象を持ちました。私は和泉のオープンキャンパスに7回来たので、顔なども覚えてくれる方もいて、気軽に話しかけてくれました。先生方や学生が関わる姿を見て親しみやすさを感じたので和泉を選びました。

## Q2.保育を進路に選んだ理由を教えてください。

私が保育士になりたいと思ったのは、中学2年生のときです。職場体験で保育園に行った時、私は初めてまともに子どもと関わりました。私は一人っ子なので、小さい子の世話をしたのは初めてでした。けれども子どもたちは「先生、先生」と沢山話しかけてくれました。また自分にはなかった知識や発想も子どもから学べることもあり、子どもと共に自分も成長していくと思い保育の道に進もうと思いました。

## Q3.和泉短期大学生としての学びについて伺います。資格を取る為の勉強なので予想以上に忙しいと思いましたか。

和泉に入ってから3ヶ月がたちましたが、前期は予想以上に忙しかったです。一つの課題が終わったらまた一つ、また授業のノート作りなどやることが尽きませんでした。「いつになれば終わるん

だろう」と何度も思いましたが、自分の夢を叶えるためだと思うと苦ではありませんでした。分からぬ時は友達に聞いたりと、周りの友達に支えられ、乗り越えられたと思っています。

## Q4.学生生活で授業以外に関わっている活動などありますか。

休みの日は毎週ではないですが、地域のボランティアなどに参加しています。町内会のボランティアなどにも参加しているので、沢山の子どもも関わっています。一人一人違う個性をもっている子どもたちへの関わり方なども学べるので、とてもよい機会だと思います。今後も、沢山のボランティアに積極的に参加していきたいと思っています。

## Q5.最後に和泉全体の印象を教えてください。

入学してみても印象は同じでした。先生方や先輩たちも関わりやすい人ばかりで、毎日楽しく過ごしています。先輩方とグループミーティングでお会いしたときも、分からないことや、実習のことなど色々話してくれました。また他のグループの人とも関わるので、色々な人のコミュニケーションもとれると思います。和泉には同じ進路に向かっている人が沢山いるので、周りの友達と共に自分は大きく成長できると思いました。

亀山 紫穂(県立相模田名高校出身)



## Q1.なぜ和泉で学ぼうと思ったのですか。

私が和泉を選んだ一番の理由は、母が和泉に通っており、母のような保育士になりたいと思い、和泉の入学を決めました。当時の授業の雰囲気、実習の様子など、色々な話を聞いていく中で和泉に興味を持ち始めました。

## Q2.保育を進路に選んだ理由を教えてください。

私は幼い頃から、保育者に憧れを抱いていました。幼稚園に通っていた頃「大きくなったら、幼稚園の先生になる!」と言い出してからずっと私の将来の夢は保育者でした。高校生になり真剣に将来について考えていく中で、私が一番自分らしいられる職業を考え、改めて保育者を目指すようになりました。また、身近な子どもたちと触れ合う中で、もっと専門的に子どもたちの成長に携わっていきたいと思い、保育者を目指すようになりました。

## Q3.和泉短期大学生としての学びについて伺います。資格を取る為の勉強なので予想以上に忙しいと思いましたか。

入学当時は、とても忙しく思いました。しかし、今はその生活にも

慣れ、一週間がとても早く感じます。和泉の授業は先生方の工夫もあり、どの科目も楽しく学べます。今までとは違った視点で周りの環境を見るようになり、もっと多くのことを学びたいと思うようになりました。

## Q4.学生生活で授業以外に関わっている活動などありますか。

私は、オープンキャンパスのスタッフをしています。私が高校生のとき、オープンキャンパスに参加し、先輩方と触れ合う機会があつたことが、とても嬉しく思いました。私自身もいろいろな高校生とお話をし、和泉の良いところを、たくさん教えてあげたいと思っています。

## Q5.最後に和泉全体の印象を教えてください。

和泉はとてもアットホームな学校です。学生同士はもちろんですが、先生方との交流の場がたくさんあるので、相談ごとなども気軽にできるところが一番いいなと思います。和泉のそんな雰囲気が私は大好きです!!

藤岡 友紀(県立相模原総合高校出身)



## Q1.なぜ和泉で学ぼうと思ったのですか。

和泉でのオープンキャンパスやプレカレッジに参加して雰囲気がとても良く、自分に合っている学校だと思ったからです。

## Q2.保育を進路に選んだ理由を教えてください。

年の離れた妹の面倒をみたり、遊んだりするのが毎日楽しく、保育園にお迎えに行ったり、運動会やバザーに行ったりしました。保育士の方は子どもと活動をしている時とても楽しそうでした。その姿をみて私も保育士になりたいと思いました。

## Q3.和泉短期大学生としての学びについて伺います。資格を取る為の勉強なので予想以上に忙しいと思いましたか。

正直なことを言うと、とても忙しいです。専門的な用語や初めて学ぶことばかりなので、難しいです。ですが、「今日はどんなこと

が学べるのかな」と、毎日授業の内容が楽しみです。もっとたくさん新しいことを学びたいと思います。

## Q4.学生生活で授業以外に関わっている活動などありますか。

いづみ祭委員をやっています。まだ活動はしていないのでわかりませんが、いづみ祭を盛り上げていけるようにみんなで協力して頑張りたいと思います。

## Q5.最後に和泉全体の印象を教えてください。

授業や課題、レポートなどやることがたくさんありとても忙しいです。そのおかげで入学前に比べると、どれもスムーズにバランスよく行うことができるようになりました。保育の現場で必要な様々な力が自然と身に付いていていると思います。

# 実習を通して学んだこと

高橋 あづさ

(児童福祉学科2年 都立片倉高校出身)



保育所実習で子どもとの距離感の大切さを学びました。実習では遊んでいる子どもたちに積極的に関わる事だけが大事だと思い込んでいましたが、子どもには子どもならではの遊びのルールがあり、その遊びを邪魔しないように距離を置いて見守る関わり方もあるという事を学びました。喧嘩やトラブルにおいても、子ども同士で解決できるまで見守る時もあれば保育者としてトラブルを通じ相手の気持ちに気付けるように間に介入して話をするという関わり方もある事に気が付きました。近すぎると分からない事、読み取ることのできない子どもの気持ちもあるのだという事を学びました。この実習で子どもと関わる際の距離感を学び、吸収するものが多かったので今後に活かしていきたいと思います。

篠 静雅

(児童福祉学科2年 都立町田総合高校出身)



幼稚園実習を通して「保育者の関わりが子どもに大きな影響を与える」ということを学びました。クラスによって雰囲気が違い、その要因の一つに担任の先生があると感じました。保育者の声のかけ方が子どもたちに与える影響が大きく、話し方や友達との遊びのなかの会話などで似ていました。そのため実習生の私も言葉遣いに気をつけました。そして子どもたちが混乱しないよう、できるだけ担任の先生に近くなるようにし、先生の話し方などに注目して実習を行いました。ただ、子どもたちも、先生と私の違いを感じており、私が声をかけても聞いてくれないこともあります。改めて子どもたちとの信頼関係が必要なのだと感じました。そして子どもにこれほど影響を与える保育者という仕事に魅力と奥深さ、責任感を感じ、より深く学んでいきたいと思いました。

市田 陽奈子

(児童福祉学科2年 県立麻生高校出身)



児童養護施設で実習を行いました。子どもたちにとって施設は家の外、幼稚園や外ではきちんと自分で出来るのだろうなと思うことも家に帰ると「やってやつ」と甘えたり、子どもたちの甘えをどこまで受け入れて良いのかということに悩みました。また、片づけや明日の用意など物事を促す際に職員とは違い「お姉さんがやってよ」となかなか聞いてくれないこともあります。

そこで子どもたちに対する職員の方々の関わり方を観察することで、生活の中に歌が多く取り入れたり、自閉症の子どももいたのでアレントトレーニングを教えて頂いたりして様々なコミュニケーションの方法を学ぶことができました。実際に自分なりに考えて実践したところ、上手いかなかったこともありますが上手いくことが多い、とても充実した実習生活を送ることができました。この学びを今後に活かしていきたいと思います。

鈴木 朝子

(介護福祉専攻科 光明学園相模原高校出身)



介護老人保健施設で6日間、コミュニケーションに重点を置き実習を行いました。その中で学んだのは、非言語コミュニケーション、受容や傾聴の大切さです。なかなか心を開いてくださらない方も、体に触れながら傾聴することで、話し始めた時には見られなかった不安な気持ちなどを少しづつ表していました。利用者さんは職員や実習生の行動や態度をよく感じています。利用者さんの心を開きたい、本当に求めているものを知りたいと思う時には、自ら心を開いてかわることが大切だと思いました。

また、専門職としてコミュニケーションをとることはただ楽しく話すだけでなく、利用者さんの健康状態や心理状態も同時に把握する重要な意味があると知りました。

この実習を通して見つかった沢山の課題をさらに学校での学びと照らし合わせ、次の実習に繋げていきたいです。

# 第49回全国私立短期大学体育大会参加 第4回結団・ユニフォーム贈呈式を行いました

7月23日(水)、和泉クラーク・ホールにて、教員、職員、在学生、大会に臨む各サークルの選手が参加して、第49回全国私立短期大学体育大会参加結団・ユニフォーム贈呈式が行われました。

今年度は、女子バドミントン、女子バスケットボール、男子バスケットボールの3競技に参加します。式では深町正信理事長から激励の言葉があり、選手を代表し森和司(2年生)バスケットボールサークル部長が宣誓を行いました。そして大下聖治学生部長から参加サークルにユニフォームが贈呈され、後援会、同窓会から激励の品が贈呈されました。

昨年は男子バドミントンシングルスで坂部俊太君が2位になる活躍をしました。今回も、選手の皆さんの活躍をお祈りします。



## 全国私立短期大体育大会日程

9月 1日(月)	開会式
2日(火)~3日(水)	競技
4日(木)	競技・表彰式・閉会式

# 神奈川県立相模原中央支援学校 「あそびの広場」に参加しました

2014年7月29日(火)相模原中央支援学校「あそびの広場」に本学ボランティアサークルの1年生11名が参加しました。当日は、全体コーナーで手遊びやアンパンマン体操、マルモリ体操などを発表しました。また、体験コーナーでは絵本の読み聞かせを行いました。



松尾 桃佳

(児童福祉学科(県立相模原高校出身)

ボランティアサークルの1年生みんなで参加させて頂きました。本番2ヶ月前から定期的に集まり練習を重ね準備をしてきました。そして本番では私たちが登場した途端に、拍手をもらったり、楽しく踊ることが出来ました。たとえ障がいを持っていてとしても、みんなで楽しく踊れたこと、そこには沢山の笑顔があふれていることを知りました。

ボランティアサークルの仲間と準備したこと、そして子どもたちと楽しく踊れたこと…皆で行うことが出来たことを誇りに思います。沢山の人の輪を感じることができ、今後自分の一生の宝物として様々なことに挑戦していきたいと思える良き活動となりました。

## アクティブラーニング！—1・2年生共同「保育実習」「教育実習」を通して—

実習・ボランティアセンター長 教授 松浦 浩樹

本学では、現場経験豊かな教員からの専門的な学びを大切に考えています。しかしそれだけでは、受動的な「勉強」になります。自ら主体的に、継続的に学ぶ姿勢を育成するために、そして短大でありながら、先輩一後輩のよりよい関係をつくるために、実習授業のカリキュラムを変更し、共に学び合う共同体作りをめざし、アクティブラーニングを取り入れています。

実習実施に必要な知識やコツ、事前の準備学習や自習の必要性など、具体的に後輩に伝えるために、先輩2年生は、自分のこれまでを振り返り、後輩に役立つ知恵を授けるために前もって準備します。

1年生は身近な先輩の取り組みや失敗談に耳を傾け、今後の学習計画を再構築します。どの学生も、なぜか生き生きしています!!!



## キャリアデザインI 「デートDV予防ワークショップ」を開講

5月26日(月)のキャリアデザインIの授業で、NPO法人「エンパワメントかながわ」の皆様にお越しいただき、「デートDV予防ワークショップ」を開講しました。

本学では、この時期に毎年1年生を対象に授業としてワークショップを実施しています。毎年度継続して行っているのは本学だけだそうです。

また、当時はNHK Eテレ「オトナへのトピラTV」の取材を受け、「デートDV予防ワークショップ」の撮影と、学生へのインタビューが行われ、2014年7月10日(木)19:25～19:54(NHK Eテレ)に放映されました。

「エンパワメントかながわ」の皆様ご協力ありがとうございました。



## キャリアデザインB 「卒業生を招いての就職懇談会」と 各協会からの就職説明会を開催しました

6月16日(月)のキャリアデザインBの授業は「卒業生を招いての就職懇談会」が実施され、公立保育所、私立保育所、私立幼稚園、児童養護施設に勤務されている卒業生をお招きして、就職活動や現在の仕事について講演していただきました。

同日は、卒業生の講演と並行

して、横浜市私立保育園園長会加盟園から園長先生と横浜市子ども青少年局子育て支援部から職員の方、横浜市幼稚園協会からも3名の園長先生にお越しいただき、保育所・幼稚園への就職についての説明会を行いました。



## 2014年度第1回和泉プレカレッジを開催しました

6月14日(土)本学にて相模原市内の将来、保育者を目指す高校3年生63名を対象とした公開セミナー「和泉プレカレッジ」を開催しました。

当日は河合高銳専任講師による「ことばを伝えることについて考えてみよう」、千葉仁非常勤講師による「ハンドベルについて 天使の響ハンドベルを奏でよう」の2講座を学びました。

次回は、相模原市内の将来、保育者を目指す高校2年生を対象に11月8日(土)に開催します。



## 第9回おもちゃインストラクター養成講座が開催されます

8月28日(木)～29日(金)の2日間、第9回おもちゃインストラクター養成講座が開催されます。日本グッド・トイ委員会から派遣して頂いた、おもちゃコンサルトマスターの山口裕美子先生にご指導頂き、受講した学生に「おもちゃインストラクター認定証」が授与されます。手作りおもちゃの技術を体得するとともに、世界のおもちゃ文化を知り、日本のおもちゃの現状とその役割を楽しく学びます。



## 夏期休業期間中の改修工事について

夏期休業期間中[7月31日(木)～9月6日(土)]に下記の通り改修工事及び点検等を実施します。ご迷惑をお掛けすることになりますが、ご理解とご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。  
担当 施設ユニット

### 1号館

1. トイレ改修工事
2. 屋上防水更新他工事・屋上ルーフドレン改修工事・サッシ周り他漏水止水工事
3. 階段ノンスリップタイヤ交換工事
4. ガス定期点検(1号館貯蔵庫、105、食堂)
5. 消毒(湯沸室1・2・3階、図書館、書庫1・2・3、105、食堂、管理員室、運転手控室)

### 2号館 (研究棟)

6. 屋上防水更新他工事

### 3号館

7. 1階 空調機械室スチルドア修理

### 4号館

8. 雨漏り修繕工事(全3箇所)
9. 2階 エアコン室外ユニット定期点検

## 第12回介護技術講習会を開催しました

5月24日(土)から6月1日(日)までの土曜、日曜日の4日間、第12回介護技術講習会を開催しました。この講座を修了すると介護福祉士の国家試験2次(実技)試験が免除されます。本学では1年に1回開催しています。修了式では、佐藤学長から一人一人に修了証が手渡されました。修了された皆様の国家試験合格をお祈り申し上げます。

### ●講習会終了後の受講生の感想

「時々医療的な話や実際に体験されたことをまじえて話して頂けてわかりやすく楽しかった。」「とてもわかりやすく親しみのある授業でした。」「先生方とても優しかったです。」「開催時間が土・日と集中的で、前に教えて頂いた内容を忘れずにいました。」

## 第3回(2014年度)介護福祉士国家試験筆記試験受験対策講座を実施します

9月13日(土)から、第3回介護福祉士国家試験筆記試験受験対策講座、全10講座を開催いたします。国家試験受験予定の方が受講予定です。今年度の受講申し込みは締め切りました。来年度も同様に開催する予定です。受講資格をお持ちの方は是非受講してください。

日 稲	時 間	内 容
1 9月13日(土)	13:00～14:30	こころとからだのしくみ
2	14:40～16:10	発達と老化の理解
3 10月18日(土)	13:00～14:30	介護の基本
4	14:40～16:10	障がいの理解
5 11月15日(土)	10:40～12:10	人間の尊厳と自立
6	13:00～14:30	社会の理解
7	14:40～16:10	人間関係とコミュニケーション、コミュニケーション技術・介護過程
8 11月29日(土)	13:00～14:30	生活支援技術
9	14:40～16:10	認知症の理解
10 12月13日(土)	13:00～15:00	総合問題・受験の心構え

問い合わせ 和泉短期大学 広報渉外ユニット TEL 042-754-1133

## 和泉短期大学後援会第7回総会が開催されました

和泉短期大学後援会 第7回総会が2014年5月31日(土)に開催されました。第1部は、2013年度事業報告決算、2014年度事業計画予算、役員改選が審議され承認されました。記念講演として宮坂覺氏(本法人理事)より、演題「中国における大学教育と日本語教育について」ご講演頂きました。



また、和泉短期大学関係団体、他団体(和泉短期大学同窓会・同父母会)との連携及び協力体制の確立を図り、様々な形で学生の支援活動を行う計画です。

## 2013年度の卒業生からの卒業記念品「説教台掛け」が贈呈されました

去る3月14日に卒業した2013年度卒業生からの卒業記念品「説教台掛け(紫色)」が贈呈されました。紫色は、待降節(アドベント)と四旬節(レント)に用います。



## 第48回いづみ祭開催

2014年10月25日(土)・26日(日)第48回いづみ祭を開催します。今年のテーマは『わくわくを届けよう～笑顔あふれるいづみ祭』です。いづみ祭最大のイベントであるサウンドコンテストは、土曜日の午前に1年生が、日曜日の午前に2年生が発表します。

また、健康測定コーナーや高校生向けの「入試相談コーナー」、後援会による「やきそば・フランクフルト」、グループ模擬店、青葉二丁目自治会による模擬店、同窓会主催の在学生・同窓生・教職員の交流スペース「いづみのひろば」、父母会のお休み処「いづみ」と盛りだくさんです。卒業生の皆さんも懐かしの和泉に是非お越しください。

### 当日のスクールバスのご案内

相模大野駅 淀野辺駅 発 9:00・10:00・12:00



## 2013年度決算書概要説明

### 初めての帰属収支差額支出超過

2014年5月24日(土)開催の理事会、評議員会で2013年度決算が承認されました。決算の概要を説明いたします。学校法人会計の計算書類は、資金繰りの状態を表す「資金収支計算書」、経営状態を表す「消費収支計算書」、財政の安全性を表す「貸借対照表」により表示し、私立学校法第47条及び学校法人会計基準第4条に定められた規則に基づき作成しています。

資金収支計算書は、2013年度中の全ての資金の流れを表示した計算書です。資金収入計は1,163,666千円です。これに対し、資金支出計は、1,136,791千円です。

2013年度末支払資金(現金預金)は1,863,486千円で、前年度末支払資金(現金預金)に比べ26,875千円増加(資金収支差額と同じ)しました。

消費収支計算書は、当該年度の収入及び支出の経費の均衡状態を表すことを目的としています。収入の部においては、学生数の若干の減少はありましたが、文部科学省の大学改革推進等補助金「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」の他にML(ミュージック・ラボラトリー)に対する教育研究装置補助金が選定されたことにより国庫補助金は、前年度より12,267千円増額になりました。資産運用収入の受取利息は、世界金融危機以来、長短金利は低下しておりましたが、若干の金利上昇により前年度対比、3,720千円増収になり、帰属収入合計は、794,262千円となりました。

帰属収入の約86%を学納金に依存しているため、学生数の減少は、本学の運営に甚大な影響を及ぼすことになります。帰属収入は、学校法人の純資産を増加させる収入です。この帰属収入から第2号基本金組み入れ計画に基づき、30,000千円の基本金組み入れを行ったことにより、消費収入の部合計は、764,262千円でした。

一方、施設設備が対象である第1号基本金は、5号館を社会福祉法人に売却したことにより、5号館の土地・建物・機器備品等について、所定の手続きを経て545,569千円「基本金取崩」をして17,812千円組み入れを行います。第2号基本金組み入れ計画は2013年度で終了致しました。

第3号基本金は、基金による運用果実(利息)から奨学事業経費を控除した残額466千円の組み入れを行い、第1号、第3号基本金組み入れ合計額は、18,278千円になります。

帰属収入から基本金組入額を控除した消費収入の部合計は、692,814千円です。これに対して消費支出の部合計は737,615千円であるため、2014年度の消費収支差額は、44,801千円の消費支出超過になり、また帰属収支差額は26,523千円の支出超過になる見込みです。

消費収支計算書の帰属収入合計は、711,092千円です。基本金組み入れは、第1号基本金

### 2014年度予算書概要説明

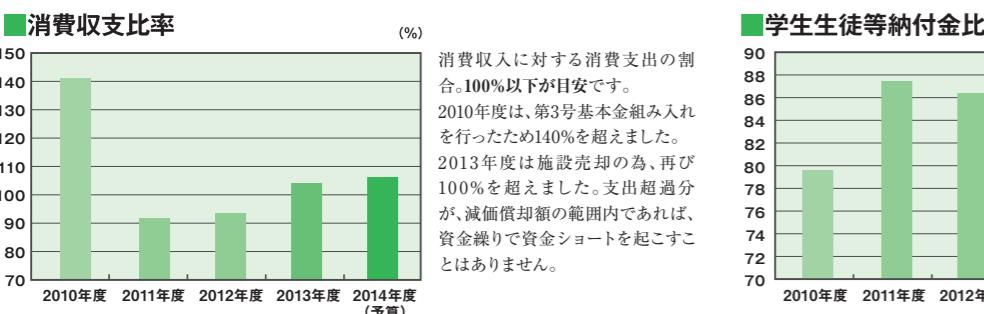
#### 安定した財政状態の回復

学校法人会計基準に基づく予算には、資金収支予算書と消費収支予算書とがあります。資金収支予算書の資金収入の部合計は、1,135,729千円で、資金支出の合計1,112,163千円です。

収入においては、預金利率低下等により前年度に比べ資金収支差額は、約17,000千円減少になり、2014年度末繰越支払資金(現金預金)も同額減少する見込みです。

消費収支計算書の帰属収入合計は、711,092千円です。基本金組み入れは、第1号基本金

### 消費収支計算書の財務比率の推移(グラフ)と説明(2010年度~2014年度)



行いました。

支出の部は、支出の大半を占める人件費は、396,826千円で帰属収入に対する人件費比率は、50%になりました。教育研究経費は、179,526千円です。教育研究活動に要する経費全般について効率的な支出に努めました。管理経費は、109,670千円です。法人業務及び管理部門の維持管理運営費の効率的、効果的な支出を図り、経費削減に努めました。

2013年度決算の大きなポイントは、資産処分差額です。5号館売却に伴い、土地、建物の不動産処分差額(売却損)を108,896千円計上したことにより、資産処分差額118,393千円が発生し、支出超過の大きな要因になりましたが、資産処分差額は臨時の要素であるため、法人の資本に及ぼす影響はありません。

消費収支計算書は、2013年度中の全ての資金の流れを表示した計算書です。資金収入計は1,163,666千円です。これに対し、資金支出計は、1,136,791千円です。

2013年度末支払資金(現金預金)は1,863,486千円で、前年度末支払資金(現金預金)に比べ26,875千円増加(資金収支差額と同じ)しました。

消費収支計算書は、当該年度の収入及び支出の経費の均衡状態を表すことを目的としています。収入の部においては、学生数の若干の減少はありましたが、文部科学省の大学改革推進等補助金「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」の他にML(ミュージック・ラボラトリー)に対する教育研究装置補助金が選定されたことにより国庫補助金は、前年度より12,267千円増額になりました。資産運用収入の受取利息は、世界金融危機以来、長短金利は低下しておりましたが、若干の金利上昇により前年度対比、3,720千円増収になり、帰属収入合計は、794,262千円となりました。

帰属収入の約86%を学納金に依存しているため、学生数の減少は、本学の運営に甚大な影響を及ぼすことになります。帰属収入は、学校法人の純資産を増加させる収入です。この帰属収入から第2号基本金組み入れ計画に基づき、30,000千円の基本金組み入れを行ったことにより、消費収入の部合計は、764,262千円でした。

一方、施設設備が対象である第1号基本金は、5号館を社会福祉法人に売却したことにより、5号館の土地・建物・機器備品等について、所定の手続きを経て545,569千円「基本金取崩」

## 資金収支計算書(概要)

### 収入の部

科 目	2013年度決算額	2014年度予算額
学生生徒等納付金収入	679,471	638,400
手数料収入	9,773	8,490
寄付金収入	1,275	500
補助金収入	60,564	49,362
国庫補助金	60,461	49,262
地方公共団体補助金	103	100
資産運用収入	22,165	11,750
資産売却収入	120,000	0
事業収入	2,410	2,180
雑収入	18,604	410
前受金収入	230,590	213,450
その他の収入	295,735	424,537
資金収入調整勘定	△276,921	△213,350
収入の部合計	1,163,666	1,135,729
前年度繰越支払資金	1,836,611	1,863,486
資金収入合計	3,000,277	2,999,215

### 支出の部

科 目	2013年度決算額	2014年度予算額
人件費支出	403,582	382,599
教育研究経費支出	121,844	154,602
管理経費支出	103,912	103,023
施設関係支出	23,221	123,620
設備関係支出	26,612	7,638
資産運用支出	418,288	301,834
その他の支出	42,592	11,997
[予備費]		30,000
資金支出調整勘定	△3,260	△3,150
支出の部合計	1,136,791	1,112,163
次年度繰越支払資金	1,863,486	1,887,052
資金支出合計	3,000,277	2,999,215
資金収支差額	26,875	23,566

## 消費収支計算書(概要)

### 消費収入の部

科 目	2013年度決算額	2014年度予算額
学生生徒等納付金	679,471	638,400
手数料	9,773	8,490
寄付金	1,275	500
補助金	60,564	49,362
国庫補助金	60,461	49,262
地方公共団体補助金	103	100
資産運用収入	22,165	11,750
事業収入	2,410	2,180
雑収入	18,604	410
前受金収入	230,590	213,450
その他の収入	295,735	424,537
資金収入調整勘定	△276,921	△213,350
収入の部合計	1,163,666	1,135,729
前年度繰越支払資金	1,836,611	1,863,486
資金収入合計	3,000,277	2,999,215

### 消費支出の部

科 目	2013年度決算額	2014年度予算額
人件費	396,826	379,824
教育研究経費	179,526	215,259
(減価償却額)	(57,682)	(60,657)
管理経費	109,670	109,591
(減価償却額)	(6,320)	(6,568)
資産処分差額	118,393	2,941
[予備費]		30,000
消費支出の部合計	804,415	737,615
当年度消費収入超過額	40,153	44,801
当年度消費支出超過額	40,153	44,801
前年度消費収入超過額	2,179,199	2,684,615
基本金取崩額	545,569	0
翌年度消費収入超過額	2,684,615	2,639,814
帰属収支差額	△10,153	△26,523

## 貸借対照表(決算概要) 2014年3月31日

### 資産の部

科 目	本年度末	前年度末	増 減




<tbl\_r cells="4" ix="4" max

# 2014年度採用新任教職員紹介

## 准教授 松山 洋平

今年度より和泉短期大学の一員となりました。数ヶ月経ちますが、学生と教職員とが創り出す明るく晴れやかな雰囲気の中で、充実した時を過ごさせて頂いております。私は、青山学院大学在学中に幼稚教育に出会い、常に子どもを主体に考える保育という営みの面白さにのめり込みました。卒業後は幼稚園教諭として働きつつ大学院へ通うなど、保育実践と研究とを分離せず考えたいと思ってまいりました。保育者養成校に勤務してからは、2歳と4歳の子をもつ親としての子育て経験も加わり、自身の経験を基に分かりやすく実感をもった授業展開に努めています。激動の時代の中で活躍する保育者を養成すべく頑張ってまいります。よろしくお願ひいたします。



## 広報渉外ユニット 菅原 千紘

7月より広報渉外ユニット職員として勤務させていただいております。



私は大学を卒業後、営業として学校図書館の新設や改修、大学案内の制作などに携わってきました。前職時から和泉にはご縁があり、外部業者として和泉の学生さんを見てきました。他大学生も見てきましたが、目標に向かい精一杯励み打ち込む姿勢の素晴らしさは和泉の学生がナンバー1だと思っています。真摯で元気な皆さん、和泉の最大の財産であり、魅力もあります。和泉の魅力を高校生をはじめ、より多くの方々に知つてもらうべく広報として精一杯努めています。どうぞよろしくお願ひいたします。

## 人事

### 法人

#### ●就任(2014.4.1)

理事(任期4年) 佐藤 守男

#### ●退任(2014.5.31)

評議員 横山 英美子

評議員 木村 治男

評議員 山田 ひろみ

評議員 菊池 寿香

評議員 中村 順子

#### ●就任(任期2年)

評議員 佐藤 守男(拠職上)

評議員 王橋 正文(拠職上)

評議員 秋山 信義(2014.6.1)

評議員 小山田 小八郎(2014.6.1)

評議員 川井 俊幸(2014.6.1)

評議員 小久保 光世(2014.6.1)

評議員 佐藤 薫美(2014.6.1)

評議員 ○鈴木 敏彦(2014.6.1)  
評議員 ○須田 拓(2014.6.1)  
評議員 ○丹野 朋子(2014.6.1)  
評議員 長尾 大(2014.6.1)  
評議員 ○中野 陽子(2014.6.1)  
評議員 ○長山 篤子(2014.6.1)  
評議員 新美 臣江(2014.6.1)  
評議員 平塚 豊(2014.6.1)  
評議員 深町 和哉(2014.6.1)  
評議員 細谷 政幸(2014.6.1)  
評議員 ○松浦 浩樹(2014.6.1)  
評議員 松田 壮吾(2014.6.1)  
評議員 宮本 和武(2014.6.1)  
評議員 ○森 三樹(2014.6.1)  
評議員 ○芳野 ハンナ(2014.6.1)

※○は新任

## 短期大学

#### ●退職(2014.3.31)

伊藤 忠彦 学長(任期満了)

渡辺 角男

経理・施設ユニットサブリーダー(定年)

#### ●就任(2014.4.1)

佐藤 守男 学長(任期4年)

大下 聖治 学生部長(任期1年)

#### ●採用(2014.4.1)

伊藤 忠彦 チャップレン、特任教授

松山 洋平 准教授

久保田 美沙子 助教(契約)

池田 なつみ

実習・ボランティアセンター実習助手(契約)

菅原 千紘

広報渉外ユニット(契約)(2014.7.1)

#### ●昇任(2014.4.1)

松浦 浩樹 教授

佐藤 美紀 専任講師

山本 正司 専任講師

#### ●異動(2014.4.1)

栗林 直樹 施設ユニット(広報渉外ユニット兼施設ユニット)

#### ●お慶び(誕生)

穴井 康夫(教育・学習支援ユニット)

長男 遥風(はるか)2014.1.29生

#### ●お慶び(ご結婚)

菅原 千紘(広報渉外ユニット)

2014.7.28

## 計報

故 鈴木 信江氏(佐藤 美紀 専攻科専任講師 御祖母 2013.9.28)

故 杉山 馨氏(青木 誠 キャリアデザインセンター支援者 御岳父 2013.10.20)

故 服部 伸枝氏(住澤 典子 キャリアデザインセンター支援者 御母堂 2014.5.16)

法人関係者一同、ご家族の上に慰めと平安がありますよう、衷心より深くお祈り申し上げます。



## 寄付者一覧(敬称略) 2014年6月1日～7月31日

新井 美優	岸川 洋治	武石 宣子	乗田 孝	山口 友紀
市川 染子	久保 芳子	田原 俊喜	深町 正信	山崎 美結
伊藤 忠彦	小久保 光世	角田 信成	松本 勇作	山本 美貴子
今泉 治子	佐藤 薫美	戸塚 恵子	丸山 雄司	横川 剛毅
小椋 邦一	佐藤 守男	長尾 大	宮本 和武	
片山 知子	杉山 佳子	新田 恒平	谷津 芳孝	

法人事務局